

若者が朝鮮半島由来文化財を学ぶ意味

～「対馬国際ワークショップ」(あおい文化交流研究所主催)報告～

2023年4月22日

「対馬国際ワークショップ」コーディネーター
元毎日新聞ソウル支局長 (天理大学客員教授)
大澤文護

I. 「朝鮮半島由来の文化財を知る 対馬国際ワークショップ2022」開催概要

1. 開催日時：2022年11月11日（金）-14日（月）＊韓国学生帰国は11月15日
2. 開催地：福岡県福岡市及び長崎県対馬市
3. 会場：（博多）TKPガーデンシティ博多
（対馬）対馬博物館・朝鮮通信使歴史館、対馬市交流センター、半井桃水館
4. 目的：日韓の若者が、朝鮮半島に近く古代より日本との交流の窓口であった対馬の歴史を学び、島内にある朝鮮半島と日本の交流の史跡や関連文化財を現地踏査する。参加者が対馬の自然と歴史・文化に触れることで日韓交流の重要性を認識することを期待する。
5. 参加者：日本学生9名、韓国学生7名、講師・スタッフ・引率者ほか8人
対馬高校学生7人 一般参加者 若干名 合計30人

6. 朝鮮半島由来の文化財を知る対馬国際ワークショップ2022・プログラム詳細

11/12 (土) 講演会・交流会

14:00-14:10 主催者開会挨拶・趣旨説明

14:10-15:10 レクチャー (Ⅰ) 「対馬で考える日韓文化交流」永留史彦氏 (対馬在住歴史家)

15:10-15:20 質疑応答 10分

15:20-16:20 レクチャー (Ⅱ) 「文化財の近代と居場所：大邱と慶尚北道の事例を中心として」崔範洵 (チェ・ボムスン) 氏・嶺南大学日語日文学科教授

16:20-16:30 質疑応答10分

16:30-16:40 休憩

16:40-17:10 レクチャー(Ⅲ) 「対馬高校国際文化交流科の日韓交流」紹介

17:10-17:40 レクチャー(Ⅳ) 「文化は人が運ぶもの」鍵本妙子氏 (NPO法人対馬郷宿理事)

17:40-17:50 質疑応答 10分

17:50-18:00 主催者コメント、閉会

18:00-19:00 学生 (日韓大学生及び対馬高校学生) 及び講師の交流会

11/13 (日) フィールド・スタディツアー

09:00-11:00 朝鮮通信使歴史館及び対馬博物館見学

町田一仁・対馬博物館長が歴史館・博物館の概要解説

午後は対馬島内の朝鮮半島由来文化財所在地及び日韓交流史跡訪問 (タクシー3台分乗)

以上

7. 主催、協力、助成団体紹介

主催：一般社団法人 あおい文化交流研究所（青嶋昌子理事長）

2018年4月に国内地域交流、海外との草の根交流を企画・実践する組織として誕生。特に江戸時代の外交使節団「朝鮮通信使」を学ぶことで新たな日韓交流を模索する活動に力を注いでいる。

協力：朝鮮文化財ワークショップ実行委員会（有光健世話人）

2016年大阪・京都、17年京都・滋賀、18年奈良、19年東京、21年福岡・佐賀で、朝鮮半島由来文化財を現地で見ながら、日本と朝鮮半島の歴史的結びつきを考えるワークショップを開催してきた。

協力：特定非営利活動法人東アジア相互理解促進フォーラム（大澤文護理事長）

2022年5月、東アジア各国の文化・社会・教育に対する知識の提供と理解を深めることにより、東アジア地域の恒久的な安定と平和確立に寄与することを目的として設立。特に文化財問題解決のための研究・講演活動を実施している。

助成：国外所在文化財財団

韓国の文化財保護法第69条の3に基づいて2012年7月に設立された韓国の政府機関・文化財庁傘下の特殊法人。海外に持ち出された韓国文化財を体系的に調査・研究し、活用・広報するために設立された専門機関。

助成：公益財団法人 日韓文化交流基金

日韓の民間文化交流を強化し、相互理解と信頼関係を築くことを目的に1983年12月に設立。国際学術会議開催や共同研究、草の根の民間交流支援、日韓若者交流では4万人を超える実績を持つ

Ⅱ. 「朝鮮半島（韓国）由来文化財」って何？

「朝鮮半島（韓国）由来文化財」とは、主に戦前（日本の植民統治期）に、朝鮮半島から合法・非合法を含めて他国に渡った文化財をさす言葉。

日本は1965年の日韓国交正常化時の「財産及び請求権に関する問題の解決並びに経済協力に関する日本国と大韓民国との間の協定」と「文化財及び文化協力に関する日本国と大韓民国との間の協定」で文化財返還は解決済みと主張。韓国は「非合法に略奪された」文化財全般の返還を要求してきた。

Russia
• 5,346

China
13,000 •

Japan
• 94,341

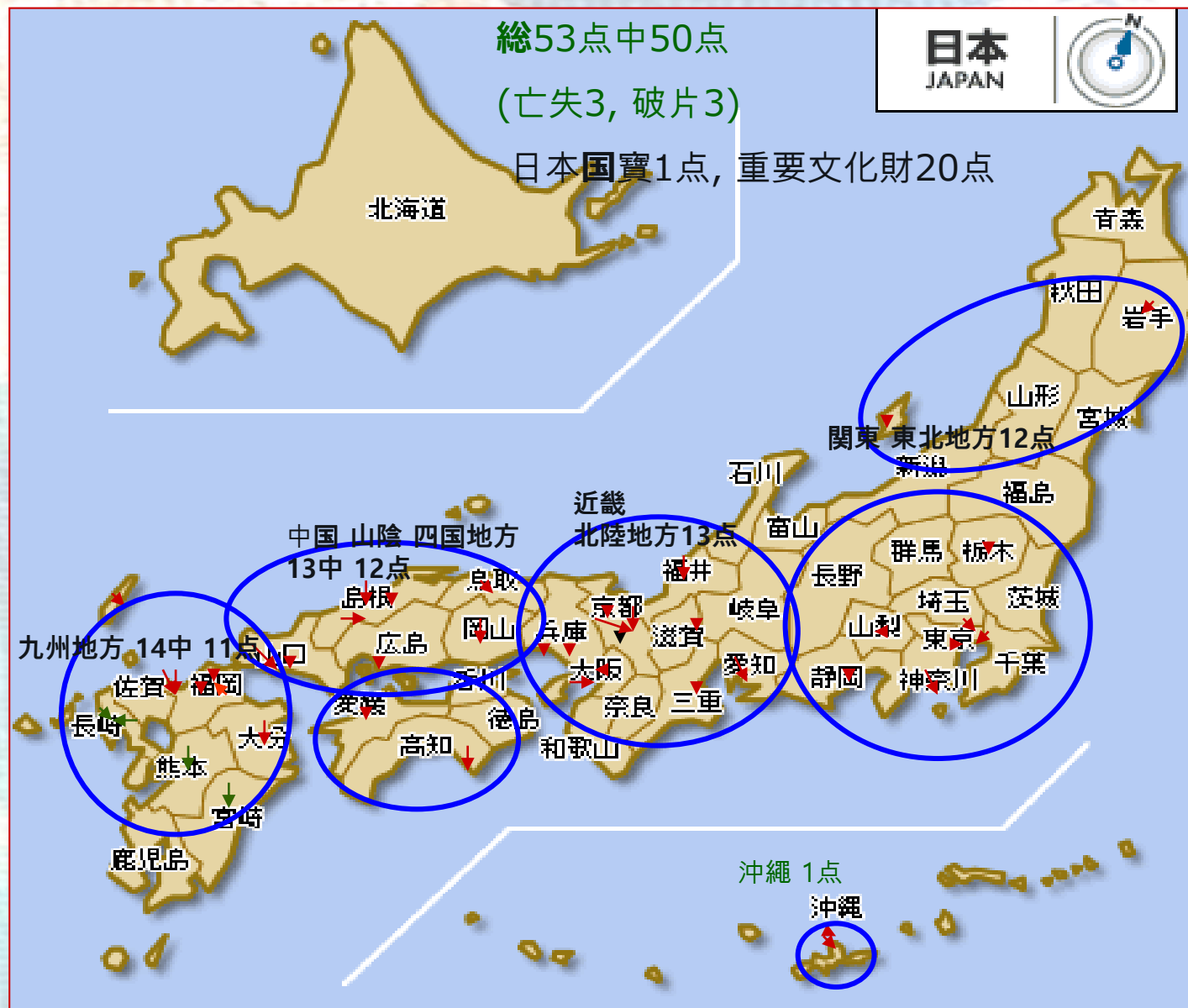
世界中の 韓国文化財

214,208

Overseas
Korean
Cultural
Heritage
Foundation

韓国政府機関が推計する朝鮮半島から海外に流出した文化財総数。うち9万4341点が日本にあると主張（2022年9月現在）している。しかし、海外所在文化財の「実態調査・研究」は、ほとんど手付かずの状態。

日本所在の朝鮮半島由来文化財の例（韓国鐘の分布）



「文化財問題をめぐる世界の動向」

(1) 1954年ハーグ条約

第1・2次世界大戦で文化財の略奪・破壊が起きた。この経験を背景に国際連合教育科学文化機関（UNESCO）が、戦時文化財の保護を目的とした国際的な条約の必要性を主張して成立した世界最初の普遍的な条約。

「武力紛争の際の文化財の保護のための議定書」の中で武力衝突によって発生する文化財の保護を求めた。

(3) 1995年民法統一国際協会（UNIDROIT）条約

不法に搬出された文化財を善意の第三者が取得した場合の認定をどうするかをめぐり成立した条約。盗難または違法に搬出された文化財の「所有者」「国家」（被害者）が直接、返還を請求できる「私法的」権限を付与している。

欧州ではこの3つの条約を基礎に文化財問題の根本的解決を図る動きが活発化。

日韓間は1965年の日韓基本条約以降は手付かずの状況。日朝に関しては白紙状態

(2) 1970年UNESCO条約

ハーグ条約を平時にも適用できるよう1970年の第16次UNESCO総会で採択された。

- ①条約に違反した文化財の搬出入及び所有権の譲渡を不法なものとする（第3条）
- ②文化財保護を担当する国家機関を設立し、保護対象である文化財を目録化する（第5条）
- ③文化財の搬出証明書制度を導入する（第6条）
- ④不法搬出された文化財の搬入を禁止する（第7条）
- ⑤文化財の不法な搬出入に関与した者に対して刑罰及び行政的制裁を加える（第8条）
- ⑥条約上の措置のために国際的に協調する（第9条）
- ⑦外国軍の占領時における強制的な文化財の移転は不法（第11条）—などが主要内容。

2020年9月24日韓国日報に掲載された韓国専門家の発言
「（文化財を所蔵する海外の）運営団体との信頼関係を築き、
『（我々が）より良く保存・管理できる』ということを相手に示す必要がある」

「海外に流出した文化財の返還を求める事業は重要だが、文化財を現地に置いたままでも教育や研究に利用することも必要である」



対馬国際ワークショップの開催趣旨と同一

**「文化財や互いの文化の価値・意味を
日韓市民が一緒に学び理解することが重要」**

Ⅲ.なぜ対馬で開催したのか



仏教はインドでおこりました。仏教の文化はヒンドークシユ山脈というところを越えて、中国の敦煌を経て都の長安（現在の西安）に入ります、そして南の長江沿いに流れるルートと北方の陸路を経由して朝鮮半島に流れるルートに分かれ古代には朝鮮半島から対馬を経て日本に仏教が入ってきます。

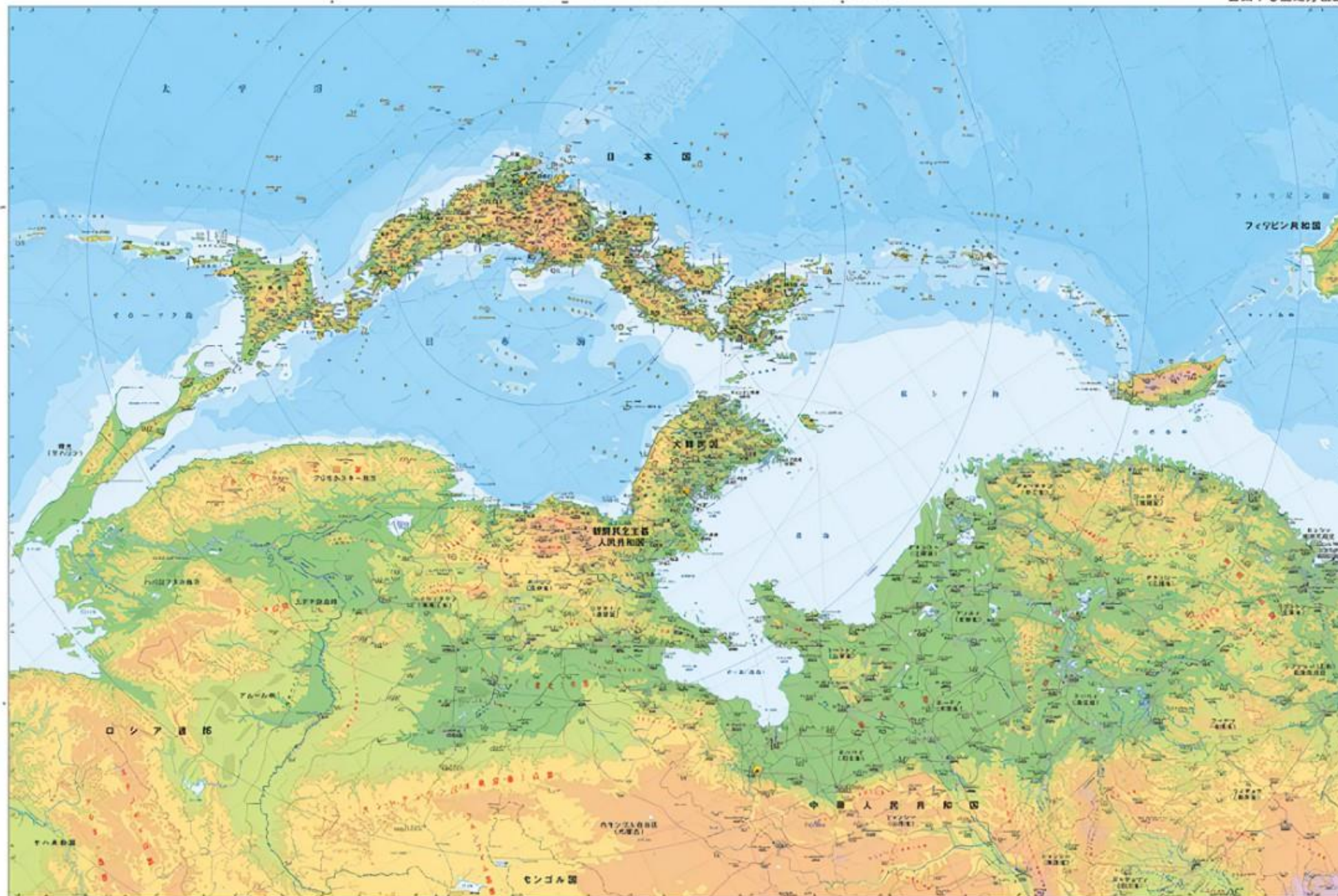


私は東アジアの交流を考えるととき地図を上下逆様にして見ます。こうすると朝鮮半島から中国北東部と日本との間は海が池か湖のように見えるのです。中国や朝鮮半島からの文化が日本に入る時はここを通ります。



環日本海・東アジア諸国図

富山中心近地方位図



1:4,500,000
© 2010 国土院
この図は、国土院の提供によるものであり、その正確性を保証するものではありません。



日本の国土（こくど）の67%を森林が占めています。平地は限られており縄文時代から今まで人間が住む場所は大きく変わらない。だから日本には古いものが残るのです。

日本に残る文化は中国・朝鮮半島から伝わってきたもの、日本で生まれたものが集まっているのです。中国や朝鮮半島では既に失われたものが、日本独特の味付けをされて残るのです。



地藏菩薩遊戲坐像（九州国立博物館蔵）

朝鮮・高麗時代 14世紀
総高49.2 像高(坐高)26.6



銅造如来坐像（黒瀬観音堂）

国指定重要文化財
統一新羅時代(8~9世紀) 像高43.6

銅造菩薩坐像（黒瀬観音堂）

町指定有形文化財
李朝時代(15~16世紀) 像高51



新羅仏を新発見 1000年超前の作か 対馬の市民持ち込み

2020/10/12 長崎新聞

長崎県対馬市内の民家に、8～9世紀の統一新羅（しらぎ）時代に造られたとみられる渡来仏1体があることが11日、対馬の仏像に関する九州国立博物館（九博）の研究員を招いた市民向けフィールドワーク中に分かった。

フィールドワークは対馬観光物産協会主催。同市巖原町の主婦（71）が、自宅から持ち込んだ仏像を九博研究員の大澤信さん（34）＝専門・仏教彫刻史＝に見せ判明した。大澤さんは鑑定後「よくぞ千年以上にわたり受け継がれてきた。大切になさってください」と語り掛け、主婦は「渡来仏と聞いてびっくりした。大事にしていきたい」と驚きの声を上げた。

九博によると、対馬で発見された渡来仏は約130体あり、中国や朝鮮半島で5～17世紀に造られたとみられている。このうち朝鮮半島で統一政権が成立し、日本では奈良や平安初期に当たる時代に造られた新羅仏は約30体。今回の1体は過去の調査で存在が知られていなかった。

海境 ニッポン

〔対馬下〕

島ぐるみで担った隣国との友好 その貴重な知恵と経験が、 いつまでも残るとは限らない。

対馬の北端、対馬市上対馬町端の山に、韓国望所(所)がある。ここから韓国(釜山)まで約400キロ。「案件が届けば釜山の街が見える」と聞いて立ち寄った。真夏の強烈な日差しで海面から立ち上る水蒸気のためか、水平線がぼやけ、陸地は見えない。だが、夜になれば釜山の街の灯や花火まで見えるという。

この近きゆえに、対馬には、朝鮮半島の文化が日本より早くも早く到達した。戦いを経ても残った。因縁な外交交渉の仲介役を担ってきた。対馬は、そんな時間の流れの中で生きてきた。対馬と韓半島が結ばれた「宝庫」だった。

北緯36度、東経130度の間に、日本と韓国が接する。対馬は、日本と韓国が接する。対馬は、日本と韓国が接する。対馬は、日本と韓国が接する。



対馬北端に位置する「韓国展望所」から韓国の方向を見る韓国入観光客一帯(韓国対馬市上対馬町端浦で7月20日)



韓国望所(所) 対馬市 釜山 100km

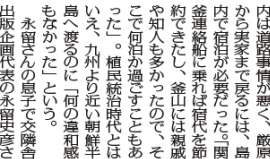
対馬の北端、対馬市上対馬町端の山に、韓国望所(所)がある。ここから韓国(釜山)まで約400キロ。「案件が届けば釜山の街が見える」と聞いて立ち寄った。真夏の強烈な日差しで海面から立ち上る水蒸気のためか、水平線がぼやけ、陸地は見えない。だが、夜になれば釜山の街の灯や花火まで見えるという。

この近きゆえに、対馬には、朝鮮半島の文化が日本より早くも早く到達した。戦いを経ても残った。因縁な外交交渉の仲介役を担ってきた。対馬は、そんな時間の流れの中で生きてきた。対馬と韓半島が結ばれた「宝庫」だった。

北緯36度、東経130度の間に、日本と韓国が接する。対馬は、日本と韓国が接する。対馬は、日本と韓国が接する。



漢字(ハングル)が混在する「朝鮮書」に對馬市の春風園(対馬歴史民俗資料館)7月18日



同資料館書芸員の山本

今はいまどろ。 敵原の山からの住居街の中村地区に明治時代の文学者、半井桃水(1861-1936年)の生家を訪ねた。朝鮮の伝統的な物語「春生伝」を日本語に訳したり、朝鮮進出を主張する「征韓論」に反して中国や朝鮮との信頼関係を築き上げた人物。

今はいまどろ。 敵原の山からの住居街の中村地区に明治時代の文学者、半井桃水(1861-1936年)の生家を訪ねた。朝鮮の伝統的な物語「春生伝」を日本語に訳したり、朝鮮進出を主張する「征韓論」に反して中国や朝鮮との信頼関係を築き上げた人物。

今はいまどろ。 敵原の山からの住居街の中村地区に明治時代の文学者、半井桃水(1861-1936年)の生家を訪ねた。朝鮮の伝統的な物語「春生伝」を日本語に訳したり、朝鮮進出を主張する「征韓論」に反して中国や朝鮮との信頼関係を築き上げた人物。

インタビュー 荒井 信一氏 茨城大学名誉教授 (国際関係史)



対馬に歴史の中心な役割を果たしてきたのは、中国(中華)の秩序(中朝)の中核に維持されてきた。朝鮮は清國への朝貢として国際秩序の中で一定の地位を認められ、日本も基本的な中国との関係の中で国際的地位を維持していた。

モニュメント作り 歴史継承を

東シヤの動乱は、その歴史が対馬に受け継がれてきた。それは、対馬の歴史の宝庫、残すべきものは、残すべき。残すべきものは、残すべき。残すべきものは、残すべき。

双 眼 鏡

人口減対策に「協働隊」 対馬の最大の悩みは人口減だ。対馬市のホームページによると1980年に6万9556人あった人口が、2010年には3万4407人に半減した。

(25)は、群馬県出身で、京大大学院修士課程を修了後にメンバーとなった。民間伝承の保全を担当し、島に残った伝統食品や生活用品などに関する聞き取り調査を進めている。

「地元の小中学生たちに、自分たちの古里が『何もない島』なのではなく、『こんな面白いものがある島』なんだ、と思ってもらえるようなものを探出ししたい。その上で、対馬の歴史も含めて引き継いでくれる若い世代が育つシステムができればいい」と夢を語る。

国と国の境をつないできた長い歴史の中で、蓄積された島の人々の経験や知恵を引き継いでいく人材作りは今、ようやく緒に就いたばかりだが、担当者たちは確かな手応えも感じているようだった。

地元行政も手をこまぬいているわけではない。総務省の「地域おこし協力隊」事業に基づき、対馬市も11年に「島おこし協働隊」を設置した。現在、8人が島内で活動している。今回出会った細貝瑞季さん

IV. 日韓の学生たちは対馬で何を見聞きし、考えたのか



対馬における
日韓・韓日交流の足跡を辿る

朝鮮通信使ゆかりの地と韓国人観光客の
人気スポットの現地調査から

Bチーム

